平成30年度　授業改善推進プラン【6年】

東大和市立第十小学校

学年	指導方法の課題・分析	具体的な授業改善策	補充・発展的な指導計画	評価
国語	・慣用句や敬語などの語彙が少ないこと ・文章全体を読んで理解はできるが、要約したり、内容を踏まえた自分の考えを書くこと	・語彙を増やせるような問題をモジュールや朝学習、宿題で継続的に取り組ませる。 ・1時間の授業や単元の終わりに分かったことを自分の言葉で要約させる。	・物語で慣用句が出てきたときには、辞書を用いて自分で調べさせる。	
社会	・資料を読み取り、分かったことを書くことはできるが、そこからなぜそうであるかの理由を考えたり、それをもとにして学習課題の答えを考えたりすること	・分かった事実をもとにして、学習課題や疑問について話し合わせる。話合いをもとにして、自分の考えをもたせることで、全員が考えられるようにする。	・資料を多角的、多面的に読み取れるようにする。 ・単元のまとめの作品づくりを児童が選択し、個人でまとめられるようにする。	
算数	・整数、小数、分数の計算の定着 ・文章問題を読んで、根拠をもって正しく立式すること	・速さや平均を求める学習で、筆算方法を確認し、確実に計算できるようにする。 朝学習、宿題等で、繰り返し計算する機会をつくる。 ・正しく立式するのが苦手な児童には、数直線図を用いるようにさせる。	・授業の始めには、5分程度の前回や単元に関連する既習事項の復習問題を解かせる。	
理科	・実験から分かったことは記入できている、そこからの考察ができないこと	・めあて→学習課題→予想→実験（観察）→結果→考察の学習の流れを確立させる。また、考察に力を入れる。 ・良かった考察を書いていた児童を紹介し、考察の書き方を指導する。	・実験器具の正しい取り扱いや正しい実験方法について指導する。	
体育	・ためしの運動を行った後に、児童に運動のコツを聞くこと	・ためしの運動を行った後に、運動のコツを聞き、グループや個人でめあてをたて、学習を進める。一回一回コツを聞きながら、めあてを考えさせ、主体的に学習を進める。	・スモールステップの場を設け、自分の力でできたと思える学習を展開する。 ・チームのリーダーとして、仲間に積極艇に声を掛けて、グループの技能を向上させたり、チーム力を高めたりさせる。	